



2学期のスタートにあたって ～ あたり前の日常に感謝する ～

長い夏休みが終わり、久しぶりに全校生徒が一堂に集まり、2学期のスタートを迎えられたことを心からうれしく思います。

楽しい思い出ができた生徒、勉強はもちろん部活動や社会体育、ボランティア活動等に一生懸命取り組んだ生徒、家族や友達との時間を大切にしたい生徒もいます。様々な体験や経験を通して成長した子どもたちの姿を見ながら、2学期も共に頑張っていきたいという思いを新たにしました。

しかし一方で、この夏、日本では大きな自然災害も発生しました。7月には熊本で大きな地震が発生し、多くの方々が不安な日々を過ごしています。また、先日は千葉県を中心に記録的な豪雨が発生し、命を失われた方や、自宅を失った方、今も不自由な生活を続けている方がおられます。被災された方々のことを思うと、胸が痛みます。

私たちは日常をあたり前のように過ごしています。しかし、災害はその「あたり前」を一瞬で奪ってしまうことがあります。家族と一緒に食卓を囲めること。友達と笑い合えること。学校で勉強できること。実は、その一つ一つが決してあたり前ではないことを改めて思い知らされます。

今、被災地にも子どもたちと同じ中学生がいます。突然の地震や豪雨によって、学校に行きたくても行けない中学生がいます。友達と会いたくても会えない中学生がいます。将来への不安を抱えながら毎日を過ごしている中学生がいます。それでも、その中学生たちは前を向いて生活しようとしています。そんな同世代の中学生の姿を少しでも心に留めてほしいと思い、始業式では「あたり前の日常に感謝する」というテーマで話をしました。

特に3年生は、来週、修学旅行で熊本を訪れるので、観光地を見るだけでなく、その土地で暮らす人々の思いや復興への願いにも目を向けてほしいこと。熊本の中学生たちも、勉強や部活動等に励み、友達との時間を大切にしながら毎日を生きていること。だからこそ、遠い場所の出来事ではなく、「もし自分だったら」と考えてみてほしいことなどを伝えました。

そのうえで自分たちにできることとして、今日という一日を大切にすること。授業を真剣に受けること。仲間を大切にすること。家族に感謝すること。自分の目標に向かって一歩ずつ努力すること。自分に与えられた今日という日を大切にしながら、前向きに歩んでほしいことを話しました。

2学期は、学校行事がたくさんあります。学習面でも大切な時期です。「何となく過ごす2学期」にするのではなく、「今日、自分にできることは何か」「仲間のためにできることは何か」を考えながら、一日一日を積み重ねてほしいと思います。

何気ない毎日こそが、未来につながる大切な一日です。子どもたち一人一人にとって、そして山代中にとって、実り多い2学期になることを願っています。

保護者の皆様、2学期もどうぞよろしくお願いいたします。共に頑張っていきましょう！

校長室より 遠くにも

熊本で大地震が発生した日、大学時代の多くの友人から心配する LINE が届きました。遠く離れていても何かあればすぐ連絡してくれる友人の存在は、とてもありがたく、温かく感じます。

千葉豪雨の際は、柏(かしわ)市に住む友人にドキドキしながら LINE しました。「玄関の隙間から水が入ってきたけど大きな影響はなかった」との返信がありホッとしました。

災害が起こるたびに、人と人とのつながりの大切さを改めて感じます。何気ない毎日や家族・友人との時間を大切にしながら、2学期も一緒に一歩ずつ歩んでいきましょう。(^^)/